



世田谷区における ICTを用いた多職種ネットワーク構築事業 (東京都在宅療養基盤整備事業) の現状と課題

世田谷区医師会 在宅医療部理事
小原 正幸



概要

当会では在宅医療に係る患者を中心として「質の高い医療」・「切れ目のない医療連携」を提供するため、医療・介護・福祉が積極的に連携し相互に支援・協力していくことで、継続的かつ一体的に提供される医療連携体制づくりに努めています。



目的・方法

平成29年より、東京都の「在宅療養推進基盤整備事業」によるICTを活用した情報共有システムの整備事業を活用し、多職種ネットワークシステム「メディカルケアステーション」(MCS)の導入を開始致しました。MCSはユーザー数約1899、患者グループ総数2500を有し、在宅患者の緊密で迅速な情報共有をもって包括的な支援を行っている。

東京都地区医師会における多職種連携システムの導入状況

平成29年6月 現在



MCS 累積統計

MCS 月間統計



令和5年2月28日 現在

令和5年2月28日 現在

登録施設総数

895

ユーザー 総数	投稿総数	患者総数
合計	合計	合計
1,899	207,717	2,542
医療・ 介護職	医療・ 介護職	患者参加 なし
1,790	207,717	2,452
一般	一般	患者参加 あり
109	2193	90

新規ユーザー登録数



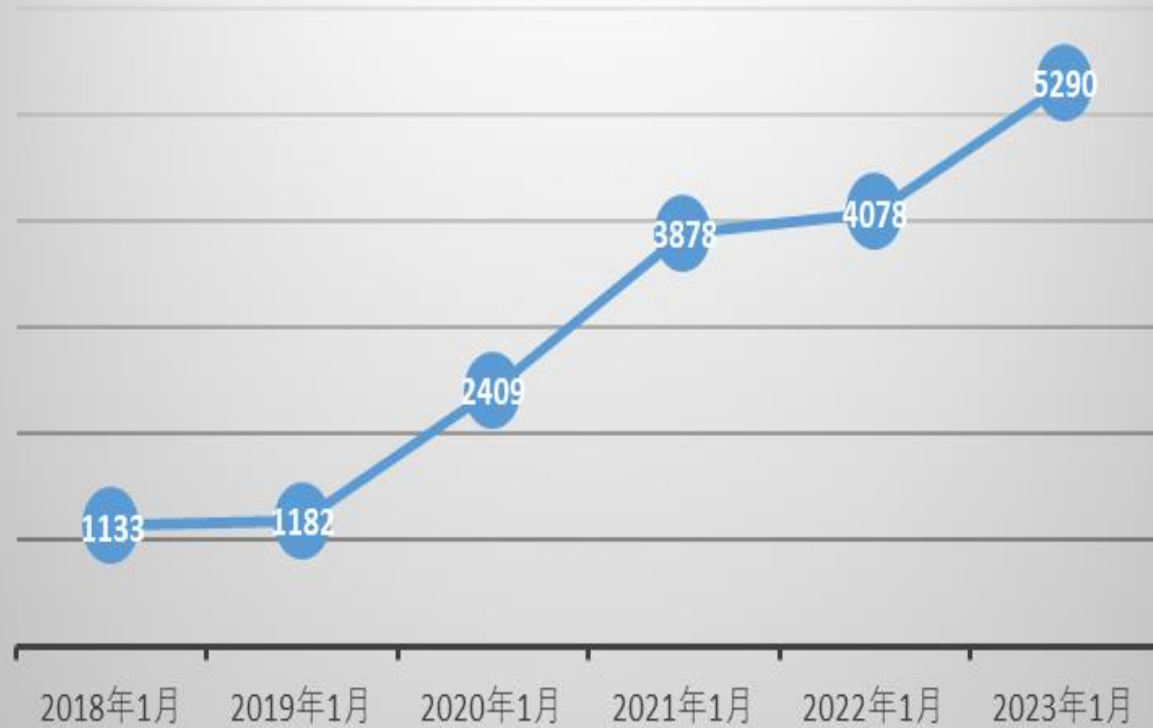
MCS 月間統計



投稿数

令和5年2月28日 現在

投稿数



新規患者数

令和5年2月28日 現在

新規患者登録数



MCS 月間統計



施設登録数

令和5年2月28日 現在

ログイン数

令和5年2月28日 現在

登録施設数



ログイン数



MCS 月間統計



投稿数

令和5年2月28日 現在

了解（確認）ボタン数

令和5年2月28日 現在

投稿ユーザー数



了解（確認ボタン）数



施設種別



令和5年2月28日 現在

施設種別	施設数	
病院	33	3.7%
医科診療所	167	18.7%
歯科診療所	50	5.6%
保険薬局	103	11.5%
接骨院・鍼灸院	5	0.6%
地域包括支援センター	10	1.1%
訪問看護ステーション	94	10.5%
居宅介護支援事業所	138	15.4%
訪問介護事業所	44	4.9%
訪問リハビリテーション	5	0.6%
通所介護（デイサービスセンター）	27	3.0%
通所リハビリテーション （デイケアセンター）	3	0.3%
短期入所療養介護（ショートケア）	0	0.00%
短期入所生活介護（ショートステイ）	0	0.00%

グループホーム （認知症対応型共同生活介護）	4	0.4%
介護老人保健施設（老健施設）	1	0.1%
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	1	0.1%
介護療養型医療施設	0	0.0%
小規模多機能ホーム	3	0.3%
養護老人ホーム	0	0.0%
軽費老人ホームA型	0	0.0%
軽費老人ホームB型	0	0.0%
軽費老人ホームC型（ケアハウス）	0	0.0%
介護付有料老人ホーム	4	0.4%
住宅型有料老人ホーム	3	0.3%
健康型有料老人ホーム	0	0.00%
その他	124	13.9%
未設定	76	8.5%
合計	895	

専門家種別



令和5年2月28日 現在

専門家種別	ユーザー数	
医師	209	10.6%
歯科医師	69	3.5%
歯科衛生士	13	0.7%
薬剤師	161	8.2%
看護師	326	16.5%
准看護師	5	0.3%
介護支援専門員・ケアマネジャー	324	16.4%
管理栄養士	11	0.6%
栄養士	2	0.1%
理学療法士	72	3.7%
作業療法士	24	1.2%
言語聴覚士	7	0.4%
視能訓練士	0	0.00%
社会福祉士	75	3.8%
精神保健福祉士	16	0.8%
介護福祉士	82	4.2%
訪問介護員・ヘルパー	28	1.4%
義肢装具士	0	0.00%
保健師	17	0.9%
医療ソーシャルワーカー	14	0.7%
医療コーディネーター	15	0.8%
相談支援専門員	24	1.2%

臨床心理士	6	0.3%
診療放射線技師	4	0.2%
臨床検査技師	0	0.00%
臨床工学技士	3	0.2%
はり師	6	0.3%
きゅう師	6	0.3%
あん摩マッサージ指圧師	8	0.4%
柔道整復師	1	0.1%
助産師	0	0.00%
救急救命士	1	0.1%
看護助手	2	0.2%
施設職員	37	1.9%
歯科助手	4	0.2%
歯科技工士	0	0.00%
衛生管理者	1	0.1%
主任介護支援専門員	19	1.0%
福祉用具専門相談員	3	0.00%
診療情報管理士	1	0.00%
医療事務	46	2.3%
医師会職員	22	1.1%
地方自治体職員	6	0.3%
その他・未設定	298	15.1%
合計	1971	



MCSの導入・運用上の課題

- ① 個人端末の管理とセキュリティー
- ② 複数の登録手続きと管理
利用者申込書、連携守秘誓約書、業務情報等に関する誓約書、患者同意書
入退職管理
- ③ 閲覧・返信等に対する拘束感や負担感
- ④ 他の連携ツール（ノート、電話、FAX、メール等）で十分

MCSの導入・運用上のメリット

- ① 患者・利用者情報をどこでもリアルタイムに共有
- ② 医療介護業務の効率改善
- ③ 他のICTシステムよりも利用が簡単
- ④ 無料
- ⑤ ガイドラインに従ったシステム・セキュリティーが導入されている



「まとめ」

地域包括ケアシステムの5要素（医療、介護、予防、住まい、生活支援）において、患者を取り巻く支援体制についてはより一層の多様化が予想されます。その中でも医療については、地域の医師を束ねる地区医師会として、在宅医療の更なる充実に向け、連携体制づくりが重要であると考えます。医療・介護・保健・福祉・行政と共にこれらの情報と課題を引き続き積極的に共有していく必要がある。